

ソフィアズ ナウ Autumn 2018

 .....  
 地域ソフィア会  
 .....

 .....  
 全国大会の10年  
 .....

ソフィア会が「地域ソフィア会全国大会」をスタートさせたのは2009年。「地域・各種ソフィア会活動に対する連携体制推進」が目的でした。

ソフィア会はその前年、クラブ・サークルのOBOG会など、それまで独自に活動していたさまざまな上智大学の同窓会組織の統合を目指し、上智大学ソフィア会への登録制度を導入します。独自組織への活動支援サービスができるよう、体制を整えようと考えたからです。

そしてこの年、初めてソフィア会内に215の地域・各種ソフィア会が誕生しました。上智大学ソフィア会が、文字通り全学同窓会としての体制を確立したといっても過言ではありません。続いてソフィア会が打ち出したのが、こうした数多くのソフィア会の「連携体制推進」を目的とした地域ソフィア会全国大会でした。

今年まで10回を数えた全国大会には、全学同窓会としてのソフィア会の強い意志と確かな狙いが込められていたのです。


 上智大学ソフィア会  
 第10回 地域ソフィア会全国大会 2018香川大会 懇親会


## 第10回地域ソフィア会全国大会「2018香川大会」

大型台風の直撃を受け交通機関の運行も危ぶまれる中、四国・高松にこれだけのソフィアンが集まり、ソフィア会の結束の強さを見せつけた大会となりました

# ソフィア会の拡大・発展を支えた全国大会



2018 香川大会では、歴代の大会実行委員長が紹介されました

## 当初は創立100周年をターゲットに

台風 24 号の直撃で、事前には 200 名を超えていた参加者も当日は 160 名にとどまった香川大会でしたが、参加者からは「これまで以上に活気あふれる大会だった」との声が聞こえました。悪天候の中、四国・高松にこれだけのソフィアンが集まった背景には、地域ソフィア会全国大会の 10 年の積み重ねがあったといえるでしょう。

当初、全国大会がターゲットにしていたのは、2013 年の上智大学創立 100 周年でした。第 1 回の九州大会（2009 年）を報告したソフィアンズナウ No.166（2009 年秋号）には「今回の全国大会を Kick off として、ソフィア会は上智大学創立 100 周年を迎える 2013 年までの 5 年間をかけ国内各地で全国大会を開催、100 周年記念にあたる 2013 年には東京での開催を予定しています」というくだりがあります。

## 地域ソフィア会全国大会の足跡

今年の香川大会でちょうど 10 回目を迎えた地域ソフィア会全国大会。10 年ではほぼ全国を回った全国大会の足跡をたどります。

### 第 1 回 九州大会<開催地：北九州市>

ホスト：北九州ソフィア会  
 コホスト：福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島ソフィア会  
 日時：2009年11月7日(土) 13:00～  
 会場：北九州国際会議場  
 主な内容：地域ソフィア会代表 5 名による  
 パネルディスカッション  
 「ソフィア会の更なる活性化」  
 参加者：100 名



会場：函館国際ホテル  
 主な内容：地域ソフィア会代表－情報交換会  
 パネルディスカッション「それぞれのソフィア、ソフィアンのきずな」  
 コーディネーター：細川佳代子氏  
 パネリスト：高祖敏明氏、滝澤正氏、石澤良昭氏、  
 ウィリアム・カーリー氏



参加者：226 名

### 第 5 回 東京大会（大学創立100周年記念拡大大会）

ホスト：上智大学ソフィア会  
 日時：2013年10月19日(土) 14:10～  
 10月20日(日)  
 エクスカーション

会場：上智大学四谷キャンパス  
 主な内容：NEXT100 プロジェクト  
 各ワークショップ発表会  
 100周年記念拡大東京大会全体会議  
 「ソフィア NEXT100 からの提言」、  
 「東京宣言」



参加者：450 名

### 第 6 回 新潟大会<開催地：新潟市>

ホスト：新潟ソフィア会  
 コホスト：群馬、千曲川、アルプス、南信州、郡山、  
 いわき、富山ソフィア会

日時：2014年9月27日(土) 13:30～  
 9月28日(日)  
 エクスカーション

会場：ホテルオークラ新潟  
 主な内容：情報交換会  
 パネルディスカッション  
 「グローバルとローカルー新潟からの発信」  
 コーディネーター：安藤優子氏  
 パネリスト：藤崎一郎氏、曄道佳明氏、篠田昭氏



参加者：185 名

### 第 2 回 関西大会<開催地：大阪市>

ホスト：関西ソフィア会  
 日時：2010年11月6日(土) 13:00～  
 会場：ANA クラウンプラザホテル大阪  
 主な内容：ゲストスピーカー新井満氏  
 による講演「上智大学に学んで培われた精神」  
 参加者：190 名



### 第 3 回 山梨大会<開催地：甲府市>

ホスト：山梨ソフィア会  
 コホスト：アルプス、千曲川、さいたま、静岡県、八王子、日野ソフィア会  
 日時：2011年10月22日(土) 13:00～  
 10月23日(日) エクスカーション

会場：甲府富士屋ホテル  
 参加者：210 名  
 主な内容：地域ソフィア会情報交換会  
 卒業生によるパネルディスカッション「Men and Women for Others,with Others」(他者のために他者とともに生きる)  
 コーディネーター：道傳愛子氏  
 パネリスト：石澤良昭氏、細川佳代子氏、  
 ソマホン・イドゥス・ルフィン氏、林史乃氏

### 第 4 回 函館大会<開催地：函館市>

ホスト：札幌ソフィア会  
 コホスト：函館、滝川、室蘭ソフィア会  
 日時：2012年10月6日(土) 13:00～  
 10月7日(日) エクスカーション

この第1回の九州大会の参加者は100名でしたが、これが第2回の関西大会となるとほぼ倍増の190名に。その勢いが、2011年の第3回山梨大会に引き継がれます。ホストを務めた山梨ソフィア会は比較的規模の小さな地域ソフィア会ですが、近隣のソフィア会がコ・ホストとして協力、参加者は210名に、参加した地域ソフィア会も北九州大会の19団体、関西大会の21団体から31団体に増えました。

2012年の第4回全国大会は北海道大会として函館市で開催。初日の大会はもちろんですが、翌日のエクスカッションも観光施設の多い函館人気スポットのツアーが評判でした。

## 2013年拡大東京大会で定着

そして、全国大会が当初ターゲットとしていた2013年の東京大会（大学創立100周年記念拡大大会）を迎えます。会場となった上智大学四谷キャンパスを訪れた参加者は一気に450名に増えました。

東京大会では、さまざまなテーマで卒業生と学生が一体となったワークショップが行われ、この大会を機に「ソフィア会の次の100

年を見据えて」という壮大なテーマを掲げてNEXT100プロジェクトがスタートします。

この年は、5月のオールソフィアンの集い（ASF）には過去最大の2万7,000人が来場、また11月1日に東京国際フォーラムで行われた祝賀行事には天皇皇后両陛下がご臨席、4,200名の招待者、卒業生などが一堂に集いました。当日夜、ホテルニューオータニで行われた「オールソフィアンズ大祝宴」には1,500人のソフィアンが会場を埋め尽くしました。

創立100周年を目指して始まった全国大会は、この勢いをそのままにその後も継続されることとなります。第6回は新潟大会。ニューヨークをはじめ海外5か国からソフィアンとそのご家族参加しました。その後も、全国大会は広島（第7回広島大会）、仙台（第8回宮城大会）、名古屋（第9回名古屋大会）と全国各都市を回り、今回第10回香川大会を高松市で迎えたわけです。この全国大会、2019年は“いったん休み”となりますが、その後も各地を回り、ソフィア会活動を支え続ける予定です。

### 第7回 広島大会<開催地：広島市>

ホスト：広島西部ソフィア会  
 パートナー：広島東部ソフィア会  
 コホスト：愛媛、岡山、香川、徳島、鳥取、山口県ソフィア会  
 日時：2015年10月3日(土) 13:00～  
 10月4日(日)  
 エクスカッション  
 会場：ホテルグランヴィア広島  
 主な内容：情報交換会



記念講演 上智学院高祖敏明理事長  
 「被爆70周年 私にとっての広島とは?」  
 トーク&トーク  
 「ヤングソフィアン大いに語る!」-若者達の本音トーク  
 モデレーター：高橋典子氏  
 パネリスト：小林史明氏、小川幸宏氏、児玉健太氏、山田愛子氏、松本陵磨氏

参加者：232名

### 第8回 宮城大会<開催地：仙台市>

ホスト：宮城ソフィア会  
 コホスト：八戸、弘前、秋田、岩手、庄内、郡山、いわきソフィア会  
 日時：2016年9月24日(土) 13:00～  
 9月25日(日)  
 エクスカッション  
 会場：江陽ランドホテル  
 主な内容：情報交換会



パネルディスカッション  
 「地域ソフィア会とソフィア会の連携について」  
 コーディネーター：石川雅弥氏  
 パネリスト：佐久間勤氏、戸川宏一氏、榎原尚樹氏、松良千廣氏、堀憲一氏、那波三郎右衛門氏、平野ユキ子氏、斉藤仁志氏  
 記念講演 濱田直嗣氏  
 「伊達政宗が目指した世界-慶長使節と震災復興」

参加者：176名

### 第9回 名古屋大会<開催地：名古屋市>

ホスト：名古屋ソフィア会  
 コホスト：岐阜、三重、静岡県、岡崎ソフィア会  
 日時：2017年9月23日(土) 13:00～  
 9月24日(日)  
 エクスカッション  
 会場：ウインクあいち  
 (愛知県産業労働センター)  
 主な内容：情報交換会



パネルディスカッション  
 「東海各県ソフィア会とソフィア会の連携について」  
 コーディネーター：榎原尚樹氏  
 パネリスト：佐久間勤氏、戸川宏一氏、石川雅弥氏、武田英裕氏、杉山正宣氏、野村玲氏、佐藤信夫氏、本原義明氏  
 記念講演 鳥飼玖美子氏  
 「脱グローバル時代の異文化コミュニケーション」

参加者：254名

### 第10回 香川大会<開催地：高松市>

ホスト：香川ソフィア会  
 コホスト：愛媛、高知、徳島ソフィア会  
 日時：2018年9月29日(土) 13:00～  
 9月30日(日) (台風24号のためエクスカッションは中止)  
 会場：かがわ国際会議場  
 主な内容：情報交換会 パネルディスカッション

「四国各県ソフィア会と大学・ソフィア会との連携について」  
 コーディネーター：榎原尚樹氏  
 パネリスト：久田満氏、戸川宏一氏、石川雅弥氏、本木康仁氏、立木さとみ氏、岡内紀子氏、松澤源氏  
 記念講演 石澤良昭氏「ラモン・マグサイサイ賞に輝くソフィアミッション～アジアの現場で人材養成」

参加者：160名

## 新年度予算案などを可決

2018年春季全国代議員会ではまず、戸川宏一ソフィア会会長が挨拶。



「上智大学は文部科学省のスーパーグローバル大学創生支援事業に採択されているが、去る2月にはその中間評価で最高のS評価を得た。最近では週刊東洋経済の臨時増刊号「本当に強い大学2018」で国立大学を含むすべての大学で7位にランクされた。大学の努力のたまものと感謝申し上げます」と述べました。

続いて来賓としてお招きした佐久間勤上智学院理事長は「19年の長きにわたり理事長を務められた大きな成果を上げられた高祖敏明前理事長は『叡智 (SOPHIA) が世界をつなぐ』の理念を掲げ、上智大学の使命を明らかにされた。互いに支えあう人間こそ真の人間である。すべての人がそのようにならなければいけない」、また暁道佳明上智大学長は「今年の年頭に『Sophia 20-20-20』を掲げた。これは上智大学の将来構想であるグランド・レイアウト2.0に基づき、現在の学生が社会の中核と

なる20年後の世界を目指すため2010年までに20の達成項目を示したものと大学の将来ビジョンを明らかにしました。

その後、戸川会長が議長となり審議に入りました。

今回の審議事項は①新規代議員承認の件、②新規登録団体承認の件、③2017年度事業報告、決算報告及び監査報告の件、④2018年度事業計画及び予算の承認の件、の4つ。審議では、会長やそれぞれの担当委員長などが各事項を説明したのち、若干の質疑応答を経て採択に入り、審議事項は拍手によりすべて可決されました。

審議事項に続き、第3回アジアソフィア会2017カンボジア大会の報告、第10回地域ソフィア会全国大会(香川)について、顕彰候補者の推薦についてなどをそれぞれ担当委員長、副委員長が報告しました。

## 会務報告と式典—大学支援の状況を説明

5月27日(日)、ASF当日の午前中、6号館101教室でソフィア会会員大会と金・ルビー・銀・銅祝の式典が行われました。800人を収容できる会場はすぐ満席となり、別会場でテレビ中継を見る人も。

会務報告では、戸川会長が新たに創設したソフィア会奨学金制度などを紹介、ソフィア会が大学支援に積極的に取り組んでいることをアピールしました。

引き続き行われた祝典では、まず暁道学長が「今、この四谷キャンパスには9学部29学科、1万2,000人の学生が学んでいる。今後、急速



に変貌する社会にリンクを形成しうる人材を輩出するよう努力している」と大学の現状を報告する形で式辞を述べました。

続いて、金、ルビー、銀、銅祝の順で各代表者にラテン語で書かれた祝状と花束が贈られ、佐久間理事長、戸川会長の式辞・祝辞のあと、各代表者が学生時代の思い出などを交えながら挨拶、12時過ぎに会員大会と祝典は終了しました。

【決算】自2017年4月1日～至2018年3月31日

【予算】自2018年4月1日～至2019年3月31日 (単位:円)

項目	2017年度 収支決算書		2018年度 収支予算書
	2017年度 予算	2017年度 実績	2018年度 予算
<b>【収入の部】</b>			
1 終身会費(同窓会費) (注1)	45,000,000	42,195,000	30,000,000
2 入会金収入	100,000	40,000	80,000
3 維持会費(任意)収入	3,900,000	3,407,110	3,800,000
4 上智学院預け金利息	3,400,000	4,010,089	3,850,000
5 カード手数料収入	3,500,000	3,561,633	3,560,000
6 クラブ使用料収入	3,400,000	3,115,600	3,100,000
7 受取利息	2,000	56	100
8 その他収入 (ネットショッピングなど)	1,000,000	894,441	980,000
9 ソフィアズクラブ・ 事務局移転に伴う 積立金取り崩し金額	2,680,000	2,277,704	0
10 積立金取り崩し金額 (注2)	8,300,000	6,323,387	27,603,500
<b>収入計</b>	<b>71,282,000</b>	<b>65,825,020</b>	<b>72,973,600</b>
<b>【経常支出の部】</b>			
1 事務局費 事務局費用(注3)	14,850,000	14,121,970	17,343,600
2 事業費			
① 広報費	19,222,000	18,444,376	18,270,000
② ソフィアズクラブ 運営費	6,100,000	5,787,042	6,200,000
③ 未来募金 ⇒ 奨学金(注4)	3,000,000	3,000,000	3,400,000
④ ASF 運営費	4,000,000	2,986,076	4,000,000
⑤ ASC 運営費	660,000	649,639	660,000
⑥ 地域・各種ソフィア会 連携推進費	4,700,000	4,118,260	4,400,000
⑦ 国際委員会費(注5)	400,000	414,658	1,982,000
⑧ 学生支援事業(注6)	9,500,000	9,400,000	9,735,000
⑨ その他事業費(金ルビー 銀銅祝、ゴルフ)(注7)	720,000	2,473,753	1,620,000
⑩ 学部学科同窓会支援費 (注8)	1,000,000	0	500,000
⑪ 常設委員会費 (役員選考委員会・ 被顕彰者選考委員会)	250,000	150,657	230,000
⑫ NEXT100委員会費	650,000	437,975	565,000
⑬ オリンピック・ パラリンピック支援委員 会費(注9)	1,400,000	434,910	1,260,000
⑭ ビジョン特別委員会費 (注10)	-	-	658,000
⑮ ITインフラ支援費	1,150,000	1,128,000	1,150,000
<b>事業費計</b>	<b>52,752,000</b>	<b>49,425,346</b>	<b>54,630,000</b>
3 ソフィアズクラブ・ 事務局移転関係費(注11)	2,680,000	2,277,704	0
4 予備費(注12)	1,000,000	0	1,000,000
5 基金積立額	-	-	-
<b>経常支出計</b>	<b>71,282,000</b>	<b>65,825,020</b>	<b>72,973,600</b>
<b>当期収支(収入-経常支出)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>積立金</b>			
期首積立額	395,219,605	395,219,605	386,618,514
基金積立額	0	0	0
当期収支差額の取り崩し	0	0	0
当期積立金の取り崩し	10,980,000	8,601,091	27,603,500
<b>期末積立額</b>	<b>384,239,605</b>	<b>386,618,514</b>	<b>359,015,014</b>

(注1)終身会費徴収システム変更に伴い減収 (注2)終身会費徴収及び他の取入の合計金額が減少する事から積立金取り崩し補填に充てる事を代議員会にて承認が必要 (注3)ソフィア会活動の活性化に伴い事務局スタッフを1名増員 (注4)2017年度まで間接支援であった内容を2018年度より奨学金として明記 (注5)海外よりの留学生への支援と共に海外提携大学との関係強化 (注6)国際機関でのキャリア選択への支援を追加 (注7)ASC独立化による減額 (注8)学部学科同窓会への支援強化 (注9)オリンピック・パラリンピックへのボランティア支援活動の強化 (注10)ソフィア会将来ビジョン策定に向けた特別委員会活動 (注11)ソフィアズクラブ・事務局移転は2017年度で完了 (注12)各委員会活動の活性化に伴う予算未計上活動への支援等

## 新規代議員などを承認

14:30 から開催した2018年秋季全国代議員会では、まず、戸川会長が開会挨拶として「ソフィアの強力なネットワークを作り、上智大学のブランド力を高める。この2つをソフィア会の2つのミッション、すなわち大学への貢献と会員相互の親睦を通して実現していきたい」と述べました。

続いて、来賓としてお招きした佐久間理事長が登壇。「上智学院は2014年から、将来構想であるグランド・レイアウト2.0に取り組んでいる。そのゴールである2023年まであと5年。常にこの構想を見直しながらか、上智の国際化によりいっそう力を入れて取り組みたい」。理事長に続いて挨拶を

立った畔道学長は、最近の学生の活発な課外活動の例を紹介するとともに、「オリンピック・パラリンピックなどのイベントを機に上智大学に共生社会のモデルを作りたい」と語りました。

その後、議事に入り、会務報告としてソフィア会の2018年度重点施策のそれぞれの項目について進捗状況を説明。続いて議題①新規代議員の承認の件、②休会中の登録団体の登録取り消しの件についてそれぞれの委員長が説明。審議に入りましたが、2件とも提案通り拍手によって承認されました。これによって登録団体数は301団体となりました。

その後、今回は特別に「学部同窓会から初の上智大学発ベンチャーへー多言語情報



提供システムによる異文化共生社会への貢献」をテーマに講演を行いました。講師は高岡詠子上智大学理工学部情報理工学科教授と池尾茂理工学部同窓会会長（ソフィア会副会長）。理工学部同窓会の研究会での議論が発端となった取り組みで、主に訪日外国人旅行者が医療機関を受診した際に生じるコミュニケーション問題を解決するためのアプリケーションを説明しました。

## 2017年度ソフィア会重点施策実施結果(ソフィア会会則第30条にある事業報告書を兼ねる)

### 1. 次の100年に向けたソフィア会事業の展開

- ソフィア会の将来像の構築と具体的事業の開始
- 若い世代、女性の参画しやすい組織作りと活動の実践
- 時代の要請と合致した事業の早期展開

**結果** 「ソフィア会の将来像の構築」に向けて特別委員会を立ち上げ、ソフィア会奨学金の創設提案予定。

### 2. 上智学院、大学との連携推進

- スーパーグローバル大学創成支援事業への具体的な支援
- 海外からの留学生への具体的な支援活動
- 上智学院、大学開催行事への積極的な参画と支援
- SOPHIA 未来募金支援の強化
- 現役学生支援強化と学生との連携企画の充実 (ASF/ASC、就活支援企画等)
- 継続的な学生課外活動支援 (予算 800万円)
- 上智大学と連携しパラリンピック大会等に向けてのボランティア活動の啓発 (ソフィア会オリンピック・パラリンピック支援特別委員会の活動拡大)

**結果** 留学生による日本語スピーチコンテスト開催 (ASF での開催 10名、祖師谷トライアングルフェスタ 17名、卒業留学生を送る会 8名)

上智学院、大学開催行事へのソフィア会役員などの積極的な参画

アンコールワット西参道修復のためのクラウドファンディングへの支援 (100万円) とソフィア会

会員への協力要請の実施 (結果は、目標額を超え第二目標に掲げた 1500万円も達成)

ASF/ASC 学生との連携企画の充実  
就活支援企画の実施 (3回開催)

学生課外活動支援 800万円 (文化系: 26団体、体育系: 41団体) の実施  
ソフィア会オリンピック・パラリンピック支援特別委員会の活動拡大 (障がい者スポーツ支援イベント “バリアを超えていこう!” 実施、パラリンピックスポーツ支援 ポツチャ体験会と講演会)

### 3. オールソフィアンによる総合力の発揮

- 国内、海外のあらゆるソフィア会との横断的ネットワークの強化
- 学部・学科同窓会、地域、各種ソフィア会活動に対する連携と支援の強化
- NEXT100 プロジェクト推進による地域ソフィア会の活性化支援
- 第9回地域ソフィア会全国大会 (名古屋大会・9月) の実施
- 第3回アジアソフィア会 (カンボジア大会・12月) の実施
- 新しい地域、各種ソフィア会設立の支援
- 広報活動の見直しとソフィア会員への広報浸透の強化
- 会員参加企画の見直しと改善 (ASF/ASC/ゴルフ大会/講演会等)

**結果** 各地域ソフィア会総会及びイベントへのソフィア会役員・常任委員の参加などにより連携を促進

NEXT100 委員会のワーキンググループの活動の活発化 (ソフィアン起業家の集いを開催、「全国ソフィアンいいものガイド」の開始、「里山クラブ～秦野での植林と里山整備活動実施など」)

第9回地域ソフィア会全国大会 (名古屋大会・9月) の開催 (参加者 254名)。

地域・各種ソフィア会のソフィア会への新規登録を支援 (新規登録 各種ソフィア会 6団体、地域ソフィア会: なし) (登録団体総数 (2017年10月現在) 303団体 (内訳) 学部・学科同窓会 15団体 地域ソフィア会 146団体 (国内 81団体、海外 65団体) 各種ソフィア会 142団体)

第3回アジアソフィア会 (カンボジア大会・12月) の開催 (参加者 116名) ソフィアンズナウおよび同号外の定期刊行とメールニュースの定期配信。

SNS (Facebook) 登録者数は約 7,000人から約 7,500人へ増大 (約 7%増)。また、新たに学生入学式へのソフィア会紹介冊子配布、毎年の学費請求時でのチラシ同封

ASF/ASC/ゴルフ大会/講演会の改善と実施

### 4. ソフィア会の健全な発展に向けて安定した財政基盤の確立

- 維持会費年間目標 390万円の達成協力依頼と更なる広報活動
- 維持会費自動引き落とし利用者の増強

**結果** 維持会費納入の目標達成率は 87.4%

### 5. 最高議決機関としての全国代議員会の役割強化と参加率の向上

- 代議員の web・メール利用の周知と利用率 100% をめざす
- 代議員の専門委員会への参画強化

**結果** 代議員の Web メール利用率 84.6% (500人中423人、2017年秋) 達成  
代議員の専門委員会への参画を促進

# 高祖敏明上智学院前理事長に聞く 上智のアイデンティティを 確立した19年間

## 理事長として果たしたこと、残したこと

▶理事長として19年間、務められました。印象に残ることはなんですか。

19年も務めていれば印象深いことはたくさんありますよ。でもソフィア会としては、創立100周年のことがトップでは？と想像しているでしょう（笑）。それは間違いない。私が理事長のときに100周年を迎えたのは運がよかったです。式典には天皇皇后両陛下にご臨席いただいたし、ローマ教皇から特使も来られた。式典の成功だけではなく、2013年の4月から翌年の3月までいろんな企画を実行しました。「上智という大学は世界とのつながりで発展している」ことをコンセプトに、お祝いに上智に集まっていたただけではなく、こちらから出かけていったんです。国内はもとより、海外ではジョージタウン大学、グレゴリアン大学、パチカンやケルンも訪ねました。上智と深いつながりのあるところを訪れて上智の原点、歴史を確認しながら、これからの上智の発展まで考えることができた。それが、Sophia—Bringing the World Together にこめた意味です。

大事だったと思うのはグランドレイアウト（中長期計画）の策定・公表ですね。教学面だけではなく、人事も財務も組織もトータルで発展させることを目指した。今はグランドレイアウト2.0ですが、21世紀に上智が展開していく青写真となっています。6号館（ソフィアタワー）もグランドレイアウトの一環で建てられたものです。

就任してまづいなと思ったこともあります。上智にはかつて100人くらい神父さんがいて80人は外国人でした。上智にいるおかげでほかの国とのつながりが自然とできていた。それが定年退職されると、たいてい日本人の先生に入れ替わります。皆さん優秀な先生だけれども、例えばリーチ神父さんがフランスとドイツの国境あたりの泥臭さを伝えてくれるようなことは、日本人にはできない。そうした事情もあってグランドレイアウトを作成するときに世界とのつながりを意識して、ベースはカトリック精神で国際性、グローバル化、ネットワークを構築しました。

ソフィア会も上手に動いてくれました。100周年に向けて地域ソフィア会の全国大会を始めた。どうしても東京中心になってしまうのを、九州で実施していた持ち回り開催を導入しました。今やアジア・ソフィア会の開催にまで展開しています。

石澤良昭先生が学長に選ばれたのも追い風でした。石澤先生の存在があってカンボジアからアジアに目を向けることができた。現在、ミクロネシア、ミャンマー、西インド諸島などに加え、湄道佳明学長がうまく国際機関ともつないでくれて、そういう方向をめざして上智で学びたい優秀な学生をたくさん受け入れています。

人との出会いにも恵まれていたと思います。今いる13号館は元の福田家ですが、かつて2号館が完成したときにご当主が祝賀会でスピーチしてくれました。ソフィア通りと命名するよう提案してくれたのもその方です。そのご当主が亡くなられたとき、福田家は土地と建物（13号館）について上智に真っ先に声をかけてくれたんです。

▶理事長としてやり残したことはありますか。

三つあります。一つは、イエズス会の神父さんが減っていること、日本のカトリック人口も増えていない、上智の先生で信者も少ない。そうした状況で、上智の基盤であるカトリック性をどう育むかです。現在強調されている国際性と隣人性を、教育、研究、社会貢献の各方面に広げていきたいものです。

二つめは、イエズス会には「MAGIS（マジス）」という基本精神があります。ラテン語で「よりよいものを」という意味です。上智



の方向性が決まったとしても、守ろうとしたり、留まったりするのは停滞です。絶えず見直して、よりよいものを求める仕組みがあるといいと思います。

三つめは、先日、中央教育審議会が2040年の高等教育の在り方を示すグランドデザインの答申案を公表しました。予期不能な時代に突入するという近未来に向けて上智は準備できているでしょうか。20年後を見据えたグランドレイアウト3.0が待たれます。

## 潜伏キリシタン関連遺産が世界文化遺産となって

▶ちょっと質問を変えさせていただきます。7月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産への登録が決定されました。先生は永年、潜伏キリシタンの研究を続けていらっしゃいますが、この登録決定についての感想をお聞かせください。

世界遺産登録への運動が始まって17年経ちます。紆余曲折もありました。まずは関係者と喜びを分かちあいたい。12の構成資産のほとんどを視察したのですが、そこでわかったのは、観光客が増え地域が活性化することへの期待と、生活と結びついた祈りの場が観光客に荒らされるのではないかと不安、そしてブームに終わらせない手だてを模索する焦燥感です。地元の人たちが世界遺産に登録された意味を自分の言葉で語るストーリーも必要です。他方、そんな現実を越えて意義があると私が思うのは、第一に行政が潜伏キリシタン関連遺産を日本の歴史の一つとして認定したこと、第二にユネスコが日本のそうした歴史把握を世界的にも意義あるものとして認めたことです。今でも日本ではキリスト教は外国のもの、よそ者と見る意識が少なくない上、迫害、殉教、潜伏は触れたくない腫れ物として負のイメージが付きまといますが、ようやく日本の歴史の一端を担うものとして受け入れたことです。第三に将来に目を向けた意義も見いだせます。キリシタンたちの多くの犠牲の上に勝ちえた信教の自由と、多様な宗教文化との共存と価値を認める日本の方向性をユネスコが支持し、宗教紛争を克服して世界の平和への道筋を開く役割をユネスコとしても期待していると思えます。

▶潜伏キリシタン関連の大著を編集集中と伺っていますが、その状況についてお聞かせください。

潜伏キリシタンという長崎を思い浮かべる人が多いのですが、北海道から南の九州まで全国に渡るんですよ。皆さんによく知られている有名なものは除いて、消滅してしまう可能性のあるキリシタン遺物を収録し、今後の研究への素材にする計画です。英文を同時掲載するのですが、カトリックやキリシタンについて知識がないと翻訳できません。ソフィア会にはぜひ、経済的援助にも、翻訳者の紹介でも、支援いただければと願っています。

▶出版を楽しみに、ソフィア会としてできるだけのご支援ができるよう務めます。本日はありがとうございました。

# EVENT & REPORT

## 山田五郎さん講演会

### 絵画の楽しみ方～没後 50 年 藤田嗣治展に寄せて

ソフィア会は上智大学と共催で 8 月 28 日(火)、上智大学図書館 921 会議室においてフリーの編集者、評論家、タレントとして活躍している山田五郎さん(1982 文新)の講演会「絵画の楽しみ方～没後 50 年 藤田嗣治展に寄せて」を開催しました。7 月 31 日から 10 月 8 日まで東京都美術館で開催された「没後 50 年 藤田嗣治展」を軸に、美術展のみどころと藤田の数奇な人生について語っていたものです。

「大学にはなるべく近寄らないようにしているので来るのは久しぶりです」と話し始めた山田さんは、講演をこんな話から始めました。「海外で成功する日本人は日本社会では冷たく扱われる。上智大生は世界に羽ばたく人が多いから、他人事ではないはず。藤田についていえば、世界で一番高い評価を受けている日本人画家であるにも関わらず、だからこそ、日本では正当な評価がない。それはなぜか」。

藤田がほかの日本人と違うのは「パリで勉強して日本へ持ち帰る」のではなく、「パリで

成功してフランス人から認められる仕事をしたい」という点だといいます。1920 年代の狂乱の時代に藤田の人氣が爆発。創り出した裸婦の肌色は「素晴らしき乳白色」と賞賛され、作品は売れに売れ、ピカソと並ぶ大画家となり、フランス政府からレジオンドヌール勲章を贈られました。

しかし、フランスでいくら大絶賛されても藤田は日本の大衆の心を捉えたいと願っていたようです。そこに登場したのが戦争画というジャンル。戦争画は大画面に描ける。また、戦争画はヨーロッパでは伝統の一つであり、藤田は圧倒的な手応えを感じていたようです。「戦争に賛成・反対の思想性はなく、絵で悲劇性を伝えたいという気もちだったと考えている」と山田さんは語ります。

しかし戦後、日本美術家協会は藤田ひとりに戦争責任を押し付けます。藤田は戦争協力者として非難を浴び、その風潮に嫌気がさして 1949 年、日本を離れます。

しかし、戻ったパリはすっかり様変わりし、友はこの世を去るか亡命して、マスコミも藤田について「亡霊が帰ってきた」と揶揄。それでも藤田は絵を描き続け、再会したピカソとの交友は晩年まで続いたようです。

藤田は 1955 年にフランスに帰化、1959 年

にはランスの大聖堂でカトリックの洗礼を受けています。「1959 年に 100 kg の羊皮紙に、フジタ、ダリ、ピュッフェら 7 人の画家がヨハネ黙示録を描く企画があり、ほかの画家は手を抜いている印象があるが、フジタが描いた 3 枚は、細密に描きこみ、真剣に取り組んだことがわかる。ランスに建てられたフジタ礼拝堂の内壁はフレスコ画とし、80 歳で初めての技法に挑戦した。フレスコ画は漆喰が乾く前に水性の絵具で絵を描く技法で、早く、一発で描く集中力が求められる」。

礼拝堂の完成と同時にフジタはぼろぼろとなって体調が悪化、チューリヒの病院に入院し、翌年に天国へ上ります。山田さんは「晩年のフジタは日本人嫌いで誰にも会わないと噂されていたが、実際にはフジタは訪れた人には喜んで会っていた」。そして最後に「世界で一番有名な日本人であるフジタが、どうして日本で受け入れられなかったのか、展覧会を通して学びとってほしい」と語りました。

藤田を解説するというより、藤田に代わって、藤田を理解してほしいとの山田さんの願いが伝わる 140 分の講演に、満席の 200 人は夢中で聴き入りました。



## 白石和子さん講演会

### 飛びたとう、女性たち

6 月 28 日、2 号館 17 階会議室において元リトアニア大使白石和子さん(1974 外露)の講演会を行いました。満席の会場で、外交官としての大使のキャリア、世界の途上国の女性が置かれている環境、その打開策や未来への展望などをお話いただきました。女性用トイレの普及、教育の機会、早婚の阻止などが途上国の貧困からの脱却にも繋がります。

講演のテーマは「飛びたとう、女性たち」でしたが、白石さんの講演は「飛びたとう、男性たち He for She」に。ジェンダー平等の世界の実現を男性たちに問いかける、国連の新しいキャンペーンキーワードで締めくくられました。

その後の質疑応答、懇親会でも活発な質問や交流が行なわれ、時間が短く感じられるほど、参加者は有意義な時を過ごされたようです。



## 石倉洋子さん講演会

### グローバルリーダーに学ぶ

10 月 18 日(木)、四谷キャンパス内ソフィアンズクラブで、一橋大学名誉教授であり数多くの国際化教育プロジェクトの仕掛け人でもある石倉洋子さん(1971 外英)による講演会「グローバルリーダーに学ぶー世界で活躍する人が大切にしている小さな心がけ」を開催しました。

在学生・留学生を含むソフィアン、受験を控えた高校生、社会人として企業や公的機関で活躍されている方々など 70 名以上が参加。石倉さんは常に世の中の変化に敏感に、バイタリティを持って自己の生産性を高めることがいかに大切かをパワフルにお話されました。激変する世界でどのように自分自身の価値を高めてゆくべきか、参加者が価値あるヒントをいただく絶好の機会となりました。



## 変わる四谷キャンパス② ソフィア通り

JR 四ツ谷駅から上智大学の正門に至る道。今は一方通行になっていますが、昔は車も対面通行。しかも歩行者を守るガードレールもありません。学生数はまだ少なく、特に危険とも思わず大学に通っていました。

白黒写真には、旧イグナチオ教会の塔が見えます。第二次世界大戦で焼け野原になったこの土地を上智学院が購入、イグナチオ教会を竣工したのは 1949 年でした。老朽化と

もに改築が計画され、1998 年に現在のイグナチオ教会が完成します。

今は、土手の

木々も、そしてイグナチオ教会の建物も大きくなりました。2000 年になると、この通りが「ソフィア通り」と命名されます。かつては、夜になると料亭福田家の客の黒塗りの車で一



杯になったこの通りも、その福田家そのものを上智が買収。土手の桜も含めてこの通りはソフィア色に染まることになったのでした。

# ASF 2018

## 四谷キャンパスに歓声がこだました

晴天に恵まれた5月の最終日曜日（5月27日）。

「オールソフィアンの集い (ASF=All Sophians' Festival)2018」が行われた四谷キャンパスは、今年も1万人を超える人であふれました。



ASFの開会を告げる午前9時半からの聖イグナチオ教会マリア聖堂での記念ミサ。年々多くの人を訪れるようになり、今年は椅子に座れない人も



卒業して15年の銅祝、25年の銀祝、40年のルビー祝、そして50年の金祝。午前の式典に続いて、午後はそれぞれが趣向を凝らしたパーティを開催。表情に、各世代の今が表れています



ASFはお子様連れでも十分楽しめます



晴佐久昌英神父の講演会は、大きな6号館101教室で





今年7回目の留学生日本語スピーチコンテスト



学内ツアーも人気企画



ASF2018 総指揮の金谷武明さんとフォトジャーナリスト、安田菜津紀さんとの対談「写真で伝える仕事」



メンストの特設ステージでは学生団体、卒業生がつぎつぎと登場してパフォーマンスを繰り広げます



今年のMCは北陸朝日放送の森重有里彩さんとフリーアナウンサー(元日本テレビ)の菅家ゆかりさん。



グランドフィナーレでは、理事長も学長も会長も総指揮も実行委員長も、そろって上智大学万歳！



超人気企画のゆる婚。中ではどのような話が…。



ASF2018 記念講演会として開催した鳥飼玖美子ソフィア会副会長の講演「異文化コミュニケーションを考える」。400人収容可能な6号館307教室は入りきれないほどの人で埋まりました

# ソフィアンの 広 場

海外ソフィア会

44か国65都市に!

## 台湾ソフィア会

開催日：2018.03.24

期末の歓送迎会を台北市内にて開催しました。上海料理に舌鼓をうちながら、3月末に帰任される2名と新規に入会された2名の方を囲んで懇談しました。



## ニューヨークソフィア会

開催日：2018.04.26

暁道学長をお迎えしてマンハッタンの和食店で懇親会を開きました。ソフィア会会員と学生ら計17人、大学からは学長補佐の三輪さん、入学センターの福室さんも参加されました。



## デュッセルドルフソフィア会

開催日：2018.05.04

母校からお越しの佐久間理事長、暁道学長及び三輪学長補佐の3名を囲んで楽しくにぎやかな懇親会を行いました。デュッセルドルフソフィア会からの参加者は12名でした。



## マドリードソフィア会

開催日：2018.05.22

恒例の「春の集まり」を中華料理店で開催。今回は初参加2名を加え老若男女総勢11名と久しぶりの大台越えで盛り上がりました。



## マレーシアソフィア会

開催日：2018.05.19

クアラルンプールの客室飯店にて懇親会を開催。今年3回目の懇親会で約20名が集いました。会員の結婚報告や出産報告もあり、楽しい一時を過ごしました。



## フランクフルト・ソフィア会

開催日：2018.05.25

現役留学生、市ヶ谷の元留学生のほか交換留学提携校の Ateneo de Manila University の卒業生も駆けつけてくれ18名が参加。



## ソウルソフィア会

開催日：2018.05.25

鐘閣の“あいわ”で例会を行いました。この日は、総勢12名が参加。多彩な経歴の皆さんが集まって大賑わいでした。



## LAソフィア会

開催日：2018.06.03

恒例の南カリフォルニア大学同窓会ゴルフ対抗戦を開催。24校、144名が参加しました。上智大学もトップ10入りし、個人戦でも高田主将が女子の部で見事優勝しました。



## バンコク・ソフィア会

開催日：2018.06.16-17

バンコク郊外のゴルフクラブにてアセアン・ソフィアゴルフ大会を開催。今回は初めての試みで、バンコクソフィア会幹事の下、計15名がタイに集い腕を競いました。



## ワシントンDCソフィア会

開催日：2018.06.21

デュポンサークル駅近くの日本居酒屋でハッピーアワーを開催。バックグラウンドの違う方々と交流する場は様々な発見をもたらしてくれる大変貴重な場でした。



## シドニーソフィア会

開催日：2018.06.25

市内の日本食レストランで新会員の歓迎会を開きました。当会は五輪が開かれた2000年ごろが最盛期で、当時の会員は100人を超えていましたが、現在はややこじんまりとしています。



## ミュンヘンソフィア会

開催日：2018.06.30

日本レストランで9名が和食に舌鼓を打ちました。昨年初参加された二人の幹事が申し分のない準備をしてくれ、企業の駐在員やベテラン達のドイツ情報の伝授を楽しみました。



## アイルランドソフィア会

開催日：2018.07.29

グローバル化推進担当理事のブテンカラム先生と夕食をご一緒しました。先生の気さくなお人柄ととても面白いお話で時間が経つのを忘れ、気が付けば閉店の時間となっていました。



## アムステルダムソフィア会

開催日：2018.08.24

滞在十一年のベテランからオランダに来て数か月というフレッシュマンまでバランスよく10名の会員が懇談会を持ちました。うち1名は初参加でした。



## サンパウロソフィア会

開催日：2018.09.02

ブラジル名物ピカーニャレストランで、懇親会を開催。ソフィアンOBOGとご家族や留学生含む総勢37名が参加し、世代を越えた交流を楽しみました。



## モスクワソフィア会

開催日：2018.09.20

9月の定例会を開催。今回は当会在籍43名のうち16名が参加して、モスクワの中華レストランで本格的な中華料理とワインを楽しみながら親交を深めました。前回3月から、10名の新入会員が加わり、モスクワにおけるソフィアのネットワークがさらに拡大しています。



## UAEソフィア会

開催日：2018.09.27

第12回目の懇親会を開催。ソフィア会の存在をはじめて知ったソフィアン、赴任したばかりのソフィアンにお子さんも加わって、参加者は18名になりました。



## 埼玉西部ソフィア会

開催日：2018.03.25

38名で春爛漫の川越を川越八幡宮、中院、千波東照宮、喜多院、割烹佐久間と散策しながら、満開の桜を満喫しました。



## 日野ソフィア会

開催日：2018.04.14

茶話会を開催しました。当会は春と秋の年2回、茶話会形式でこじんまりとおしゃべり会を実施しています。16名が親交を深めました。



## 函館ソフィア会

開催日：2018.04.15

総会を兼ねた新年度会を開催しました。今回は湯川温泉街の一角にある函館でも評判の寿司店を会場にしました。ソフィア会からの特製ワインは初参加の新会員に贈呈しました。



## 札幌ソフィア会

開催日：2018.05.25

札幌グランドホテルで総会・懇親会を開催。1950年代卒から2010年代までの北海道ソフィアンが38名参集。他に東京から杉本人事担当理事他職員3名、後援会から幹事の河村ご夫妻が参加されました。



## 山梨ソフィア会

開催日：2018.06.09

富士屋ホテルで平成30年度総会・懇親会を開催。佐久間理事長、池尾ソフィア会副会長をゲストにお迎えし、近隣の各ソフィア会からも参加いただき、合計45人のソフィアンが懇親を深めました。



## 宮城ソフィア会

開催日：2018.06.16

仙台市内のフレンチレストランで夏の例会を開催。29年度の会計・事業報告、30年度の事業計画、及び役員の変更が決まりました。総会後は参加者30名が懇親を深めました。



## 逗葉ソフィア会

開催日：2018.06.16

逗子開成中学高等学校の海洋教育センターに39名が集い、15回目の懇親会を開催。鎌倉、横須賀、小田原ソフィア会からの参加もあり、思わぬ再会に談笑の輪が広がりました。



## 熊本ソフィア会

開催日：2018.06.16

平成30年度総会を開催。昭和36年卒の大先輩から平成22年卒までの22名が参加されました。前年度決算と今年度予算が修正承認され、新会長が選出されました。



## 新潟ソフィア会

開催日：2018.06.24

平成30年度総会・懇親会を開催。名誉会長の篠田新潟市長(72外露)、相談役の三浦佐渡市長(80文新)に加えて、江馬副学長他大学関係者、石川ソフィア会副会長もご参加くださり大変賑やかな会になりました。



**板橋ソフィア会**

開催日：2018.07.01

ソフィア会戸川会長をお迎えし、第24回総会・懇親会を開催。近隣の区からの参加者を含め、1959年の卒業生から2018年の新卒者まで36人の参加があり、盛会でした。

**福岡ソフィア会**

開催日：2018.07.06

西日本豪雨の当日、大雨の中、ビルズ福岡にて懇親会を開催しました。当会は、毎年地域懇談会の前夜に大学関係の皆さまと懇談させていただいております。

**佐賀ソフィア会**

開催日：2018.08.25

11月の九州ソフィア会と同じホテル創世佐賀にて佐賀ソフィア会を開催。初参加の6名を含む16名で和気あいあいとした楽しいひと時を過ごしました。

**上智大学体育会OB会**

開催日：2018.04.21

佐久間理事長、暁道学長をはじめ多くの来賓と、各クラブのOBOG、現役学生の合計約250名が一堂に会し、平成30年度の総会を開催しました。

**NEC宇宙ソフィア会**

開催日：2018.05.18

今年度第1回目の懇親会を府中で開催。今回は秋に定年を迎えるメンバーのお祝いで、入社当時の苦労話、今後の人生計画などの話題で盛り上がりました。昨今逆風下にあるNECですが、宇宙事業は頑張っています。

**碁鷺会**

開催日：2018.05.26-27

5月26日は市谷・日本棋院にて恒例の囲碁大会。23名のソフィア会が一堂に会して午後の一戦熱戦を繰り広げました。ASFの27日は、おなじみの「囲碁サロン」を開設。女流インストラクター矢野瑞季さんをお招きし、会場は終日にぎわいました。

**丸紅ソフィア会**

開催日：2018.05.27

丸紅に勤務するソフィア会の会（OBも含む）で、2007年から毎年ASFの機会に集まっています。今年は26名が参加しました。

**さいたまソフィア会**

開催日：2018.07.07

伊勢丹浦和店クローバールームにて総会を開催。戸川ソフィア会会長にご出席いただき、時代が変わっても変わらない上智の理念・校風について熱く語っていただきました。

**石川ソフィア会**

開催日：2018.07.29

定期総会・講演会及び懇親会を金沢東急ホテルにて開催。定期総会での議案採決後は昨年より石川県警察本部長に赴任されている河原様（86 理電）に講演いただきました。

**千曲川ソフィア会**

開催日：2018.09.08

第12回千曲川ソフィア会を開催。今回は暁道学長、ソフィア会模原組織委員長、木村理事長補佐、石笠常任委員、アルプスソフィア会から山崎会長以下3名のご来賓があり、34名の参加者となりました。

**上智不動産ソフィア会**

開催日：2018.04.12

ソフィアズクラブ会議室にて、第13回上智不動産ソフィア会2018年度定期総会および懇親会を開催しました。ホームページ <http://srea.biz/> もご覧ください。

**アピオンソフィア会**

開催日：2018.05.22

ソフィアズクラブにて春の懇話会を開催。ぬいぐるみ専門の旅行代理店「ウナギトラベル」の東園絵社長をゲストスピーカーにお招きして、約50名が楽しく賑やかに過ごしました。

**ニューヨーク東京会**

開催日：2018.05.01

ニューヨークソフィア会を源流とする当会は初めての試みとして「遠出プロジェクト」を実施。今回はソフィア会の早川会長（68 理物）の努力の結晶、「足利フラワーパーク・藤祭り」を見学しました。

**マスコミ・ソフィア会**

開催日：2018.05.27

さる4月7日85歳で永眠された磯浦康二前会長を偲ぶ会をASFの5月27日にマスコミ・ソフィア会会員、ソフィア会会員、大学関係者そしてご遺族も出席して2号館402教室で行ないました。



## イスパニア語学科同学会

開催日：2018.05.27

当同学会では卒業生部会総会および在学生・教職員部会との合同親睦会を開催し、卒業生、在校生、教員 110 余人の参加を得ました。卒業生部会の総会では新委員が承認されました。



## デュッセルドルフ東京会

開催日：2018.05.27

ASF 恒例の SJ ガーデンでの集いを持ちました。デュッセルドルフソフィア会の第二代会長の藤本忠文さま (61 外英)、同会現副会長の亀山剛生さま (67 外独) を始め 18 名が旧交を温めました。



## ものづくりソフィア会

開催日：2018.05.27

5月27日のASFにに合わせて、四谷キャンパスで「第9回ものづくりソフィア会」を開催。23名の方々にご出席いただき今回も大変充実した会となりました。



## 酒誼会

開催日：2018.05.27

今年は金祝式典・祝賀会に参加後、「銀座ライオン」にて総会を開催。卒後 50 年の記念すべき総会は法学部卒業生 124 名で女性 8 名。うち、6 名が参加くださいました。



## SNSソフィア会

開催日：2018.06.21

当日はソフィアキャンパスサポートの方から邸内各所をご案内いただき、福田家の歴史や、上智大学の所有になった経緯などを伺いました。



## 竹内一郎ゼミOB・OG会「竹の子会」

開催日：2018.06.24

西多摩霊園にある竹内先生ご夫妻のお墓へお参りしてきました。ゼミ生9期(1981年卒)を中心に10期、11期、12期の参加となりました。



## 東京シンガポールソフィア会

開催日：2018.07.21

2014 年から、シンガポール滞在経験者、在住者、及びシンガポールにゆかりのあるメンバーの親睦を目的に活動していますが、この度、各種ソフィア会に正式に登録されました。



## ポルトガル語学科同窓会

開催日：2018.08.05

JICA 横浜 海外移住資料館にて「日伯の 110 年の絆～在日ブラジル人に関する特別展」に関する講演会を開催。展示品の解説を中心に特別展開催の経緯を武蔵大学アンジェロ・イシ教授に語っていただきました。



## グリークラブOB会

開催日：2018.08.12

気温 40 度近い愛知県の東海市芸術劇場。姉妹校南山大学の男声合唱団「南山大学メルクワイヤー」創立 65 周年記念として、同団 OB と上智大学グリークラブ現役・OB 合唱団による交歓演奏会が開かれました。



## ソフィア・森の長城プロジェクト会

開催日：2018.08.25

当会は、東日本大震災で大きな被害を受けた東北・被災地の復興を目指す公益財団法人「鎮守の森のプロジェクト」(理事長・細川元首相 63 歳)に参加しています。今回は、岩手県山田町植樹祭へ参加してきました。



いつも記事・写真の投稿をありがとうございます。複数投稿くださる団体もありますが、紙面の制約によりナウへの掲載は代表的な記事・写真を一回のみとし、記事も短縮させていただいています。投稿記事の全文はソフィア会 WEB サイトにすべて掲載されていますのでご覧ください。今号は 9 月末までに投稿された記事を対象にしました。

なお、体育会ソフトテニス部 OB 会さんからも投稿いただきましたが、写真がありませんでした。また非登録団体さんからも投稿いただきました。以下にソフィア会ホームページへの掲載月日を記しましたので、Web サイトで該当記事をご覧ください。

団体名	開催日	HP掲載月日
体育会ソフトテニス部	2018.05.27	2018.08.31
JPX ソフィア会	2018.04.25	2018.05.02
文学部英文学科 81-21 クラス会	2018.07.07	2018.08.02
上智不動産ソフィア会関西支部	2018.07.20	2018.07.30

## 第4回アジア・ソフィア会

インドネシア・ジャカルタで開催(2019年9月28日～29日)

ソフィア会は、第4回目を迎えるアジア・ソフィア会を2019年9月28日(土)・29日(日)の両日、ジャカルタソフィア会(会長:バンタ美枝子さん、1964文英)にホストとしてご協力いただきインドネシアのジャカルタ市で開催します(後援:上智大学)。

アジア・ソフィア会は、日本とアジア各地のソフィア会(14か国・16団体)との交流・親睦により相互理解と連携を深めることを目

的に、第1回大会を香港、第2回大会を上海、第3回大会を昨年カンボジアで開催してきました。ジャカルタ大会では、佐久間勤上智学院理事長、曄道佳明上智大学長をはじめ大学関係者を迎え、アジアのソフィアンとそのご家族や留学生と親交を深めていただきます。

大会では、アジア各国の代表者によるパネルディスカッション、記念講演、懇親会を楽しんでいただき、翌日はジャカルタの市内



観光にご案内いたします。詳細は決まり次第メールニュースやWebサイトなどでご案内します。

## オールソフィアンのクリスマス(ASC2018)

12月14日(金)18:00からアクティブcommonsで



ソフィア会は「オールソフィアンのクリスマス(ASC)」を12月14日(金)18:00から四谷キャンパス内アクティブcommons(旧9号館カフェテリア)で行います。この年末恒例のASCは、春の「オールソフィアンの集い(ASF)」とならぶソフィア会の公式行事です。

今年第11回目を迎えるASCは、18:00からの「ソフィアンの祈り」で

スタート。続く第2部は恒例のクリスマスパーティ。現役学生や卒業生のパフォーマンスが盛り上げます。

パーティ会場を囲むようにさまざまなブースが設置され、その収益金の一部はチャリティとして、今年は東アフリカのマラウイの給食支援を通して世界中の子どもたちの貧困を解決するために活動をしている団体「NPO法人せいぼ」に送られます。

会費は学生500円、一般1,000円(アルコールドリンク無料券付き)。ソフトドリンクはどなたでもフリー。ソフィア会と上智大学の共催行事ですが、学生の上智聖歌隊、上智大学放送研究会、ソフィア祭実行委員会、カトリック学生の会が協力しています。

## みなさまの参加をお待ちしています

## 年末年始のソフィア会イベント

マスコミ・ソフィア会年末恒例 12月10日(月)  
講演を聞いてワインを飲もう会

マスコミ・ソフィア会では12月10日(月)18:30からソフィアンズクラブで、ワインを飲みながら会員である加藤春一さんの話を聞く会を行います。

テーマは「縄文道」。今、さまざまな角度から見直されている「縄文」を、「縄文道」を提唱する加藤さんが解き明かします。

当日は、マスコミ・ソフィア会のメンバーが料理、つまみも用意します。ソフィアン、そしてその友人、家族も参加できます。

日時:12月10日(月)18:30

場所:ソフィアンズクラブA・B会議室

会費:一般3,000円、学生500円

申し込み

[https://www.sophiakai.gr.jp/form/fid\\_293.html](https://www.sophiakai.gr.jp/form/fid_293.html)

上智大学体育会OB会主催 1月6日(日)  
第25回オールソフィアンズ健康マラソン大会

体育会OB会は『第25回オールソフィアンズ健康マラソン大会』を下記の通り開催します。今回から申込み方法並びに開催時期を変更しました。

日時:2019年1月6日(日)

12:00 受付開始 12:45 開会式

13:10 Walk スタート

13:30 Run スタート

14:30 閉会式

15:30ごろ 懇親会(ソフィアンズクラブ)

場所:皇居(桜田門付近)

競技種目:Run、Walkともに、約5Kmの周回コース

参加資格:上智大学OB・OG、教職員及びその家族

費用:競技参加費1,000円、

別途 懇親会費 2,000円

申し込み

<https://goo.gl/forms/kemplXzhwgxPqVHu2>

ソフィア会・ソフィア会経済人倶楽部共催  
経済人倶楽部賀詞交歓会 1月23日(水)

ソフィア会とソフィア経済人倶楽部(SBC)は、毎年恒例の賀詞交歓会を2019年1月23日(水)、東京・赤坂のオークヒルズクラブ(オーク森ビル37階)で開催します。ソフィア会経済人倶楽部の会員以外でも自由に参加できます。ソフィア会としても唯一の賀詞交歓会ですので、ご家族同伴でご出席ください。

時間:18:30~20:30

(受付開始 18:00)

参加費:7,000円

(事前振り込み、2008年以降にご卒業の方は4,000円)

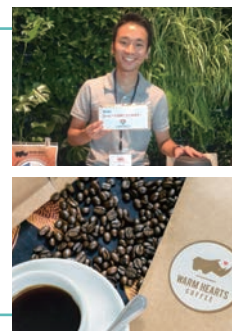
申し込み

[https://www.sophiakai.gr.jp/form/fid\\_291.html](https://www.sophiakai.gr.jp/form/fid_291.html)



ソフィアン同士がもっともつなごう!というNEXT100活動に全国から参加できるプロジェクトです。

全国各地でモノづくりやサービス業に携わるソフィアンが大勢います。身近にいるそんなソフィアンを紹介してください。“いいもの”を提供するソフィアンを紹介し、商品の購入やサービスの利用を通じて応援する同窓の輪。“地産消消”、ささやかな地域貢献にもつなげたいという思いで取り組んでいます。



アフリカ、マラウイのコーヒー販売を通して現地の学校給食につなげている山田真人さん(2015文英)。

## 上智大学金祝燦燦会

みなさまは「金祝燦燦会」というソフィア会があるのをご存知でしょうか。この会は世界中に数多くあるソフィア会(301団体、2018秋現在)の中でも入会資格が72歳以上に限定されている大変ユニークな団体です。

そうです、毎年5月のオールソフィアンズ・フェスティバル(ASF)時に開催される上智大学による卒業50周年を祝う金祝の祝典を経て初めて入会資格が得られる会なのです。単なる高齢者の集まりではありません。「金祝世代の仲間との交流・親睦を図ると共に母校上智大学に貢献することを目的」として、金祝を迎えた仲間との親睦の機会提供はもちろん、積極的に大学、そして、特に留学生との交流・支援に力を入れています。

高祖敏明前理事長は、「卒業50年を経たソフィアンが母校に集い、とくに留学生への奨励金授与や日本語スピーチコンテストの開催など活発な活動をされている姿は、私ども



金祝奨励金授与式

撮影:相良邦夫(1963文独)/2018年7月31日

俳句「夏」表彰式



に大きな励みを与えています。上智の教育精神『他者のために他者とともに』を、身をもって示してくださっているからで、こうした燦燦会の活動は留学生たちによって広く語り継がれ、ソフィア会の歴史に深く刻まれていくことでしょう。今後とも、「叡智が世界をつなぐ」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます」と述べられています(「上智大学金祝燦燦会五年のあゆみ」より)。そして、金祝奨励金の受給者のひとりである中国のキョ・シキンさんは、「奨励金は全額授業料の支払いに充てた。最終学年の経済的な負担を減らし、授業に専念できた。おかげで博士論文も無事に2年の最後で提出し、今後は大学院で学んだ知識を活かし、社会貢献したい。ソフィアンの誇りと志を高く持ち、日々精進していきたい」と述べています。

金祝燦燦会では、留学生への奨励金授与や

留学生によるスピーチコンテスト以外に、留学生による俳句コンテストや、上智大学祖師谷国際交流会館で、地元のお祭りであるトライアングルフェスタ開催時にソフィア会による留学生の「お国自慢スピーチコンテスト」に協力し、共に地域との交流にも努めています。

金祝燦燦会では、いろいろな活動をするために皆で知恵を出し合い、皆で奉仕活動をしています。毎月集まっており、実に活発な議論が展開されています。さらに、ソフィアタワーの6階のソフィアンズクラブでは毎月の定例会議の後、会員同士の絆を深めています。

以上述べましたように、金祝燦燦会を一言で表すとすれば、「72才を超えても生き生きと元気に活動し、活躍できる場を提供する」会といえるのではないのでしょうか。正に、金祝燦燦会がユニークである所以です。

## マスコミ・ソフィア会

発足は31年前に遡ります。1987年新聞学卒業の先輩たちが中心になって立ち上げ、メンバーは主に新聞、出版、放送などのマスコミメディアに従事している面々でした。

年に2、3回の懇親会を兼ねた情報交流会と会報「コムソフィア」の発行を行っていました。会員や上智の同窓生にはマスコミの現場だけでなく、評論、論文、小説等の各種メディアでの活動を通して、海外、国内社会に向けて発信しているメンバーがいるので、このような人物を顕彰しようではないか、ということで名づけて「コムソフィア賞」が1990年に設定されました。

そして、毎年一回の総会、会報発行、各種講演会、「コムソフィア賞」授賞式などの活動を故濱口浩三さん(TBS会長)、故磯浦康二さん(NHKチーフアナウンサー)の下で続け、2018年5月からは諸先輩の精神を受け継ぎ第3代会長に村田亨(テレビマンユニオンエグゼクティブプロデューサー)が就任、現在14名の常任幹事により運営されています。

現在は、以下のような活動をしています。

年2回の会報「コムソフィア」(2000部発行、学内学部学科、ソフィア会の他約300名の本会登録メンバーに配布・12月に第75



2018年度コムソフィア賞の記念講演会

### 社会の一隅でキラリと光り活躍しているソフィアンを推薦してください 第28回「コムソフィア賞」授賞候補者推薦募集

マスコミ・ソフィア会の紹介欄でもお知らせしましたが、今回から上智大学・上智大学ソフィア会・上智大学マスコミ・ソフィア会の3者による新体制で運営される「コムソフィア賞」にふさわしい人物をご推薦ください。

選考基準は上智大学の関係者(学部、院の卒業生、教職員、在校生)で

- ① 国際社会、地域社会に貢献した優れた人物
- ② 国際報道、日本紹介に優れた業績を挙げた人物
- ③ マスコミおよび各種メディアに貢献した人物

など、現代社会でキラリと光り活躍しているソフィアンです。

(これまでの受賞者は [info@cumsophia.jp](mailto:info@cumsophia.jp) で見るができます)

候補者推薦要領: 被推薦者名(学部、卒年)、推薦理由、推薦者名(学部、卒年)を明記の上、メールアドレス [cumsophia@sophiakai.gr.jp](mailto:cumsophia@sophiakai.gr.jp) 宛お送りください。

号予定)、「コムソフィア賞」選考・授賞式(19年度に28回目予定)、紀尾井の森倶楽部講演会、大人の社会見学会《Google(Googleって何しているの?)、YKK(ファスナーはこんなところまで!)、NHK(4K,8Kってどんなもの?・生放送で映像を見学)》など座学でなく会員の興味ランクされる場所に出かけて行く勉強会のほか、会合の後の懇親会などで会員や参加者との交流を図っています。そして、近々「遊ぶ会」を立ち上げ、落語、講演、芝居、音楽会など会員特典のイベントも計画しています。

マスコミ・ソフィア会の重点事業として運営されているのがコムソフィア賞です。2018年度第27回の当賞はNHKコメンテーターの道傳愛子さんが受賞しました。当賞はこれまでマスコミ・ソフィア会の単独事業

でしたが、この回からは新しい体制が作られ、上智大学・上智大学ソフィア会・上智大学マスコミ・ソフィア会の3者によって全学規模で行われました。今後、「コムソフィア賞」は28回以降も広く大学内外に広めることを目的にこの3者の新体制で運営されます。

(28回目の「コムソフィア賞」は別欄の要領で授賞者推薦募集が行われます)

以上の活動については、毎月の常任幹事会で協議され、会員への通信、HP、ソフィア会ニュースなどでお知らせしています。なお、これらの活動は会員の会費(4000円/年、10000円/3年)によって運営され、会員はマスコミに限らずIT時代に対応して、広く各種メディアに従事する方々を構成メンバーとしていますので、皆様の参加をお待ちしています。

## 9月期学位授与式は 国際色ゆたかに

9月20日(木)、9月期学位授与式が四谷キャンパス6号館101教室で行われました。これは国際教養学部など英語だけで学位が取得できる学部や研究科の学生を対象とした卒業式で、200人を超える学位取得者とその家族が出席。佐久間勤上智学院理事長、曄道佳明上智大学長とともに、戸川宏一ソフィア会会長が祝辞を述べました。

留学生が多く、国際色ゆたかな式はすべて英語で行われ、卒業生を迎える立場の戸川宏一ソフィア会会長も英語でソフィア会の活動を紹介、最後に「I promise you that the day will come when each and every one of you will feel truly blessed that you graduated from Sophia University. As President of the Alumni Association I pray for your success and congratulate you all. Congratulations once again on your achievements.」と祝福しました。



## 2018年度学生課外 活動支援金を贈呈 59団体に合計800万円

ソフィア会は7月20日(金)、学内2号館17階会議室において、2018年度の学生課外活動支援金の贈呈式を行いました。学生課外活動支援事業はソフィア会の大きな目的である「大学への貢献」の中核をなすもので、今回も文科系18団体、体育会系41団体の59団体に合計800万円の支援金を贈呈しました。この学生課外活動支援は、大学に課外活動団体として登録している団体を対象に、文科系団体については「毎年活動の成果を公演会・演奏会などで発表しているか」、体育会系団体の場合は「競技ごとに学生連盟などに加盟し、公式大会に大学を代表して出場しているか」、「毎年の公式大会・リーグ戦・上南戦などでの成績および部活動の実態はどうか」などを考慮して選考しています。

## 2018ソフィアンズカップ ゴルフ大会に141名が参加

9月6日(木)、第23回ソフィアンズカップゴルフ大会を開催。今年の会場は昨年に引き続き神奈川県箱根町の箱根カントリー倶楽部で実施、141名のソフィアンが参加しました。昨年は突然の雷雨で中断を余儀なくされ、今年も台風21号の進路が非常に気になりましたが、幸いにも影響を受けることなく台風一過のすがすがしい天気の中、素晴らしいコースコンディションのゴルフ場で和気



あいあいの楽しいプレーが繰り広げられました。主な成績は次の通りです。  
**優勝** 矢後 忠男(1973理電)  
**準優勝** 新谷 義和(1972経営)  
なお、ショートホールのチャリティー収益金14万6,500円をSOPHIA未来募金として上智学院に寄付しました。

### 今後のスケジュール <ソフィア会・上智大学(学院)>

2019年	3月25日(月)	学部学位授与式
	3月26日(火)	大学院学位授与式
	4月 1日(月)	学部入学式
	4月 2日(火)	大学院入学式
	5月18日(土)	春季全国代議員会(予定) 金・ルビー・銀・銅祝式典
	5月26日(日)	会員大会 ASF 2019
	9月20日(金)	9月期学位授与式
	9月21日(土)	9月期入学式
	[未定]	ソフィアンズカップ・ゴルフ大会(開催地未定)
	9月28日(土)	第4回アジア・ソフィア会—ジャカルタ大会
	9月29日(日)	
	10月19日(土)	秋季全国代議員会(予定)
2020年	11月 1日(金)	創立記念日・先哲祭
	12月 3日(火)	ザビエル祭
	12月13日(金)	ASC 2019(予定)
	3月24日(火)	学部学位授与式
		大学院学位授与式

### 事務局便り 事務局長の森田浩一です。よろしくお祈りします。

ソフィア連携室に7月から配属になり、ソフィア会にて事務局長を委嘱いただいた森田浩一と申します。専門は就職・キャリア支援になります。ソフィア会の現在・将来のことを真摯に考え、役員・委員の活動を手厚く支援し、会員の望むサービスを数多く提供できればと思っております。「手間を惜しまない」事務局体制をどこまで築けるか、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。ソフィアンズクラブも会員の皆さまが利用しやすいよう、徐々に改善していく予定です。ツイッター@sophiakai もご覧ください。



### 編集部より

ソフィアンズナウ 2018 春号 (No.183) で、ソフィアンズクラブに掲げられている絵画「ヨーロッパ内外にセミナリオを設立するグレゴリウス13世」を紹介しましたが、これに異説があるとの指摘をいただきました。小説やネットでそのような見方があることは事実ですが、編集部はこの絵を所蔵しているグレゴリアン大学教会史学部准教授のイタリア語解説を要約したものです。なお、リード文最後の「550年のときを経て、いま蘇ります」は単純ミスで「450年のときを経て」(実際は434年)の誤りでした。お詫びして訂正します。

### 訃報 (2018年春~2018年秋)

※敬称略

4月 8日逝去	植田 康夫	名誉教授(元文学部新聞学科)
4月30日逝去	桜林 誠	元経済学部経営学科教授
7月31日逝去	金本めぐみ	元専任教員(文学部保健体育研究室)
8月 3日逝去	渡邊 義愛	名誉教授(元文学部フランス文学科)
8月 3日逝去	尾形 利雄	名誉教授(文学部教育学科)
8月 8日逝去	小林 末雄	元文学部保健体育研究室教授
8月19日逝去	國井 健宏	元専任教員(神学部神学科)
9月 2日逝去	吉野 耕作	総合人間科学部社会学科教授
9月 7日逝去	佐藤 真一	名誉教授(元経済学部経営学科)
10月 1日逝去	大木 雅夫	名誉教授(元法学部)
10月 3日逝去	大谷 啓治	上智大学元学長、文学部名誉教授
10月26日逝去	土田 将雄	上智大学元学長、文学部名誉教授

### お悔やみ申し上げます

第1回ソフィアンズ顕彰を受賞された大谷啓治氏(元上智大学学長、元ソフィア会会長)が10月3日、新納春雄氏(グリークラブOB 会名誉会長、元丸紅ソフィア会会長)が9月26日逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。